

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況



平成20年2月1日

上場会社名 アイカ工業株式会社 上場取引所 東証・名証第一部
 コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 修
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務企画部担当 (氏名) 阿久根 善裕 TEL (052)409-8261

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	72,137	△2.8	7,467	△3.4	7,693	△2.1	4,355	△8.0
19年3月期第3四半期	74,181	4.7	7,731	△0.2	7,860	0.5	4,731	8.4
19年3月期	100,737		10,750		10,933		6,483	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	65	61	65	60
19年3月期第3四半期	71	27	—	—
19年3月期	97	66	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
20年3月期第3四半期	87,527		66,212		74.9	987	59
19年3月期第3四半期	85,726		62,752		72.5	936	48
19年3月期	90,333		64,693		70.9	965	39

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	5,897	△4,067	△1,899	14,718
19年3月期第3四半期	2,897	△3,366	△4,859	11,996
19年3月期	6,356	△4,023	△4,860	14,802

2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

業績予想の見直しは行っておりません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、原油価格の一段の高騰、米国のサブプライムローン（信用力の低い個人向け住宅融資）問題に端を発した金融不安、株安、円高ドル安など景気の先行きに不透明感が広がりました。

建築業界におきましては、耐震偽装の防止を目的に建築基準法が改正され、建築確認申請手続きおよび検査が厳格化されたことにより、住宅・非住宅とも建築着工件数が大幅に減少いたしました。

このような状況にありまして当社グループは、市場の低迷を打開するため営業活動の強化や魅力ある新商品の開発に積極的に取り組みました。また原油価格をはじめとする資源価格の高騰に対処するため、グループをあげて生産効率の向上、コスト削減、経費削減などに努めるとともに、製品価格の是正に注力いたしましたものの値上がり分を完全に吸収するには至らず収益を圧迫することとなりました。

各セグメント別の状況は次のとおりです。

（化成品セグメント）

環境配慮型商品である超低VOC（揮発性有機化合物）品の水系タイプや弾性接着剤、合板・集成材向け接着剤、外装・内装仕上塗材や塗床材等は、改正建築基準法の影響を受け苦戦を強いられましたが、建築・土木向け補修補強関連商品は堅調でした。なお、当セグメントは、度重なる原材料の値上がりで収益が大きく圧迫されました。

（建築材セグメント）

木口意匠に特長のある商品や木目柄のメラミン化粧板と色・柄を連動させた粘着材付塩ビフィルムは好評でしたが、化粧合板は、改正建築基準法の施行で新設住宅着工件数が大幅に減少し、シート合板など住宅市場向け商品が低調でした。

（住器建材セグメント）

不燃化粧材は、豊富な柄や加工性能、短納期対応が評価され、リフォーム市場や野丁場（大型施設などの大掛かりな工事）市場で売上げを伸ばすことができましたが、インテリア建材は、新設住宅着工件数の大幅な減少の影響を受け厳しい状況でした。

（電子セグメント）

プリント配線板は、高速伝送や電磁波障害対策などの分野で高い評価を得ることができましたが、国内の半導体や産業機器を中心とした需要の落ち込みをカバーするには至りませんでした。電子材料は、中国や台湾向けのタッチパネル用ハードフィルムや携帯電話端末用インサートフィルムが堅調でした。

（その他セグメント）

受託加工品である保存剤関係は苦戦を強いられましたが、有機微粒子は、化粧品、塗料向けが堅調でした。

この結果、当第3四半期（平成19年4月1日から平成19年12月31日まで）の当社グループの売上高は72,137百万円（前年同期比2.8%減）、経常利益は7,693百万円（前年同期比2.1%減）、四半期純利益は4,355百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末は、総資産が前連結会計年度末に比べ2,806百万円減少しました。主な資産の減少は「受取手形及び売掛金」が3,573百万円減少したことなどによるものです。また、主な負債の減少は「支払手形及び買掛金」が1,469百万円減少したことなどであります。主な純資産の増減は、「剰余金の配当」により1,858百万円減少と「当四半期純利益」4,355百万円の増加などによるものです。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.0ポイント上昇し、74.9%となりました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

平成19年度の法人税法改正に伴い、平成19年4月1日以降取得資産の減価償却の計算方法については、改正後の法人税法に定める方法によっております。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期末 (平成18年12月31日現在)		当第3四半期末 (平成19年12月31日現在)		増減		(参 考) 前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
I 流動資産								
現金及び預金	11,996		14,718		2,722	22.7	14,802	
受取手形及び売掛金	37,681		35,218		△2,462	△6.5	38,792	
たな卸資産	5,366		6,417		1,050	19.6	5,298	
その他	2,113		2,242		128	6.1	2,321	
流動資産合計	57,158	66.7	58,596	66.9	1,438	2.5	61,215	67.8
II 固定資産								
有形固定資産	16,236	18.9	16,941	19.4	704	4.3	16,369	18.1
無形固定資産	2,576	3.0	2,349	2.7	△227	△8.8	2,539	2.8
投資その他の資産	9,754	11.4	9,639	11.0	△115	△1.2	10,209	11.3
固定資産合計	28,568	33.3	28,930	33.1	362	1.3	29,118	32.2
資産合計	85,726	100.0	87,527	100.0	1,800	2.1	90,333	100.0
(負債の部)								
I 流動負債								
支払手形及び買掛金	17,334		16,293		△1,040	△6.0	17,762	
短期借入金	412		404		△8	△2.1	416	
その他	3,591		3,607		15	0.4	5,699	
流動負債合計	21,338	24.9	20,305	23.2	△1,033	△4.8	23,879	26.4
II 固定負債								
繰延税金負債	751		181		△569	△75.8	885	
退職給付引当金	347		311		△36	△10.4	337	
その他	535		515		△20	△3.8	537	
固定負債合計	1,635	1.9	1,009	1.2	△625	△38.3	1,760	1.9
負債合計	22,974	26.8	21,314	24.4	△1,659	△7.2	25,640	28.4
(純資産の部)								
I 株主資本								
資本金	9,891	11.5	9,891	11.3	—	—	9,891	10.9
資本剰余金	13,744	16.0	13,744	15.7	0	0.0	13,744	15.2
利益剰余金	39,314	45.9	43,563	49.8	4,248	10.8	41,066	45.5
自己株式	△2,917	△3.4	△2,923	△3.3	△5	0.2	△2,919	△3.2
株主資本合計	60,033	70.0	64,276	73.5	4,243	7.1	61,783	68.4
II 評価・換算差額等								
その他有価証券評価差額金	2,113	2.5	1,292	1.4	△820	△38.8	2,273	2.5
繰延ヘッジ損益	0	0.0	△2	△0.0	△3	△378.3	△0	△0.0
為替換算調整勘定	23	0.0	△6	△0.0	△29	△127.0	32	0.0
評価・換算差額等合計	2,137	2.5	1,283	1.4	△853	△39.9	2,305	2.5
III 新株予約権	—	—	13	0.0	13	—	—	—
IV 少数株主持分	581	0.7	638	0.7	57	9.8	604	0.7
純資産合計	62,752	73.2	66,212	75.6	3,460	5.5	64,693	71.6
負債純資産合計	85,726	100.0	87,527	100.0	1,800	2.1	90,333	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期 自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日		当第3四半期 自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日		増 減		(参 考) 前連結会計年度 自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
I 売上高	74,181	100.0	72,137	100.0	△2,043	△2.8	100,737	100.0
II 売上原価	53,768	72.5	52,149	72.3	△1,618	△3.0	73,020	72.5
売上総利益	20,413	27.5	19,988	27.7	△425	△2.1	27,716	27.5
III 販売費及び一般管理費	12,682	17.1	12,520	17.3	△161	△1.3	16,966	16.8
営業利益	7,731	10.4	7,467	10.4	△263	△3.4	10,750	10.7
IV 営業外収益	272	0.4	396	0.5	123	45.6	367	0.4
V 営業外費用	142	0.2	170	0.2	27	19.4	184	0.2
経常利益	7,860	10.6	7,693	10.7	△166	△2.1	10,933	10.9
VI 特別利益	61	0.1	43	0.0	△18	△29.8	91	0.1
VII 特別損失	199	0.3	237	0.3	37	19.0	291	0.3
税金等調整前 四半期(当期)純利益	7,722	10.4	7,499	10.4	△223	△2.9	10,732	10.7
法人税、住民税及び事業税	2,642	3.5	2,704	3.8	61	2.3	4,177	4.2
法人税等調整額	280	0.4	355	0.5	75	26.8	△12	△0.0
少数株主利益	67	0.1	83	0.1	16	23.7	84	0.1
四半期(当期)純利益	4,731	6.4	4,355	6.0	△376	△8.0	6,483	6.4

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第3四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等合計	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成18年3月31日残高	9,891	13,744	36,390	△2,913	57,113	2,666	549	60,328
当四半期の変動額								
剰余金の配当 (注)1			△1,726		△1,726			△1,726
役員賞与金 (注)2			△81		△81			△81
四半期純利益			4,731		4,731			4,731
自己株式の取得				△4	△4			△4
自己株式の処分		0		0	0			0
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)						△528	31	△496
当四半期の変動額合計	—	0	2,924	△4	2,920	△528	31	2,423
平成18年12月31日残高	9,891	13,744	39,314	△2,917	60,033	2,137	581	62,752

(注)1 剰余金の配当は、平成18年6月の第106期定時株主総会における利益処分及び中間配当の支払によるものであります。

2 役員賞与は、平成18年6月の第106期定時株主総会における利益処分によるものであります。

当第3四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等合計	新株予約権	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計				
平成19年3月31日残高	9,891	13,744	41,066	△2,919	61,783	2,305	—	604	64,693
当四半期の変動額									
剰余金の配当			△1,858		△1,858				△1,858
四半期純利益			4,355		4,355				4,355
自己株式の取得				△3	△3				△3
自己株式の処分		0		0	0				0
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)						△1,022	13	34	△974
当四半期の変動額合計	—	0	2,496	△3	2,493	△1,022	13	34	1,519
平成19年12月31日残高	9,891	13,744	43,563	△2,923	64,276	1,283	13	638	66,212

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等合計	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成18年3月31日残高	9,891	13,744	36,390	△2,913	57,113	2,666	549	60,328
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当 (注)1			△1,726		△1,726			△1,726
役員賞与金 (注)2			△81		△81			△81
当期純利益			6,483		6,483			6,483
自己株式の取得				△6	△6			△6
自己株式の処分		0		0	0			0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△360	54	△305
連結会計年度中の 変動額合計	—	0	4,676	△6	4,670	△360	54	4,364
平成19年3月31日残高	9,891	13,744	41,066	△2,919	61,783	2,305	604	64,493

(注)1 剰余金の配当は、平成18年6月の第106期定時株主総会における利益処分及び中間配当の支払によるものであります。

2 役員賞与は、平成18年6月の第106期定時株主総会における利益処分によるものであります。

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	前第3四半期	当第3四半期	(参考)
	自平成18年4月1日 至平成18年12月31日	自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	前連結会計年度 自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
金額	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	7,722	7,499	10,732
減価償却費	1,642	2,107	2,217
賞与引当金の増減額(減少：△)	△577	△611	12
売上債権の増加額(増加：△)	△2,388	3,558	△3,494
たな卸資産の増減額(増加：△)	△620	△1,183	△543
その他流動資産の増減額(増加：△)	△371	△309	△256
仕入債務の増減額(減少：△)	1,391	△1,438	1,808
その他流動負債の増減額(減少：△)	386	358	114
その他	57	△86	△139
小計	7,243	9,894	10,451
法人税等の支払額	△4,420	△4,131	△4,186
その他	73	134	91
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,897	5,897	6,356
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△1,595	△2,352	△1,945
有形固定資産の売却による収入	79	0	102
無形固定資産の取得による支出	△850	△393	△1,016
投資有価証券の取得による支出	△869	△1,285	△972
その他	△130	△35	△192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,366	△4,067	△4,023
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少：△)	△3,095	—	△3,095
配当金の支払額	△1,726	△1,860	△1,725
その他	△37	△38	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,859	△1,899	△4,860
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△16	△3
V 現金及び現金同等物の増加額(減少：△)	△5,338	△84	△2,531
VI 現金及び現金同等物の期首残高	17,334	14,802	17,334
VII 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	11,996	14,718	14,802

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位：百万円)

	化成品	建装材	住器建材	電子	その他	計	消去又は 全社	連結
I売上高及び営業損益								
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	20,358	22,195	24,742	5,413	1,472	74,181	—	74,181
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替高	2,106	3,309	—	—	—	5,416	(5,416)	—
計	22,464	25,505	24,742	5,413	1,472	79,597	(5,416)	74,181
営業費用	21,160	20,988	21,982	4,964	1,270	70,367	(3,916)	66,450
営業利益	1,303	4,516	2,759	448	202	9,230	(1,499)	7,731

当第3四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

(単位：百万円)

	化成品	建装材	住器建材	電子	その他	計	消去又は 全社	連結
I売上高及び営業損益								
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	20,092	21,008	24,264	5,207	1,564	72,137	—	72,137
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替高	1,817	(注)1,559	—	—	—	3,377	(3,377)	—
計	21,910	22,567	24,264	5,207	1,564	75,515	(3,377)	72,137
営業費用	20,958	18,843	20,459	4,807	1,360	66,429	(1,759)	64,670
営業利益	952	3,724	3,805	400	203	9,085	(1,617)	7,467

(注) 内部売上高が大幅に減少している要因は、当社の「建装材セグメント」で生産しておりました住器建材セグメント製品の構成品について、連結子会社での増産設備完成にともない住器建材製品として一貫生産が可能となり、「建装材セグメント」から「住器建材セグメント」への内部移動がなくなったことによるものです。

(参考)前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位：百万円)

	化成品	建装材	住器建材	電子	その他	計	消去又は 全社	連結
I売上高及び営業損益								
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	27,464	30,720	33,591	7,046	1,915	100,737	—	100,737
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替高	2,760	4,064	—	—	—	6,824	(6,824)	—
計	30,224	34,784	33,591	7,046	1,915	107,562	(6,824)	100,737
営業費用	28,326	28,621	29,626	6,491	1,665	94,729	(4,742)	89,987
営業利益	1,898	6,163	3,964	555	249	12,832	(2,082)	10,750

(注) 1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

事業区分は、製品の種類、販売市場等を勘案し行っており、各事業区分の主要製品は次のとおりであります。

化成品 外装・内装仕上塗材、塗床材、塗壁材、各種接着剤

建装材 メラミン化粧板、化粧合板

住器建材 玄関・室内用ドア、インテリア建材、カウンター、収納扉、不燃化粧材

電子 プリント配線板、電子システム商品、電子材料

その他 保存剤、他

2. 前第3四半期連結会計期間、当第3四半期連結会計期間及び前連結会計年度における営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、1,499百万円、1,621百万円及び2,079百万円であり、その主なものは、一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期及び当第3四半期

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合がいずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期及び当第3四半期

海外売上高は連結売上高の10%未満であるので記載を省略しております。